

令和2年度認定こども園リーチェル幼稚園における学校関係者評価および自己評価の結果報告

自己評価アンケート集計日 令和3年3月 15日
 学校関係者評価委員会評価実施日 令和3年3月 24日

1. 園の教育目標

心身ともにたくましい子になろう

2. 認定こども園リーチェル幼稚園の具体的な保育指針

- 自分で出来ることは自分でやる気概を育てる
- 知性・思考力と好奇心、創造性の伸長
- 身近な動植物を愛し、自然や社会の事象に興味・関心をもつ
- 体力の向上をはかる
- 10の約束（幼児期に身につけたいモラル）を実践する

3. 学校評価項目の取り組み状況・達成結果の評価

	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会	
		評価	反省と改善点	評価	意見
1	保育の計画性	B	担任以外の職員が長時間保育へ配置できるよう人員を確保することができ、教材研究・保育研究等の時間を捻出することができた。 コロナの影響で計画を変更することもあり、特に1学期は保育開始が遅れたが、その後の保育時間を夏休みの縮小により確保し、保育時間を確保することができた。しかし、計画は中止や仕様変更を余儀なくされた。	A	今年度はコロナの影響を受け、園の全体の計画から各学年の保育計画、月間保育計画など、変更や中止をすることとなったが、この一年間コロナ禍においても子供たちへ例年と変わらず保育実践することができた。 コロナ禍における教育保育について、さらに創意工夫を施し、よりよい教育保育の提供を求める。
2	保育の在り方園児への対応	A	コロナ禍における保育について、感染症対策を講じながらの保育を模索しながらおこなってきた。子供たちに何が大切かを考えるきっかけとなり、保育を見直す機会ともなった。また続くであろうコロナを踏まえた保育のあり方を考えていかなければならない。 また、年々個別サポートの必要な園児が増えており、園児数に対する職員数を増やし、きめ細かいサポートができるよう体制づくりに努めた。	A	コロナ禍における保育について、いろいろと制限があると思うが、感染症対策を施し、安心安全な環境で保育ができることを望む。今年1年いろいろな対策を園にて講じてもらい、子供達や保護者も安心して預けることができた。
3	教師としての 資質・能力 良識・適性	A	コロナの影響で多くの研修会が中止となったが、リモート研修など参加できる研修に積極的に参加した。 また園内研修として、各月に全職員を対象としたリモート研修をおこない、全職員で同じ想いを共有することで職員の同僚性を高めることができた。	A	例年の研修がコロナにより中止となり、研修機会が大幅に減少したが、数少ない研修の中でも積極的に参加し、教師の資質向上に努めた。 また、園内の全体研修を定期的におこなうことにより、職員全体の資質向上に努め、より良い組織を築いていく姿勢がとてもよい。
4	保護者への 対応	B	コロナの影響で、保護者が関わる行事等が変更や中止となり、また父母の会活動も削減され、園との距離が離れてしまう状況となってしまった。これらを解消するため、ICT技術を取り入れ、動画配信やリモート保育などをおこなった。また園での子供たちの様子をできるだけ見てもらえるよう、園生活の写真を増やした。	B	保護者の来園機会がコロナにより激減し、園とのコミュニケーションの機会が減ってしまったが、そんな中でも参観機会をおこなったり、行事の観覧方法を工夫し、子供たちの様子をみる機会を創出してくれた。コロナ禍でも園とのつながりが創出できることをより工夫していけるとよい。

5	研修と研究	A	食育面と運動面において保育に取り入れ、引き続き子供たちの興味関心が向上するよう調査研究に努めた。 2か月に1度職員全体研修会を導入し、定期的に全職員の資質向上に努めた。	A	教育内容がより充実したものとなるよう教育研究に努めていって欲しい
---	-------	---	---	---	----------------------------------

*結果の表示方法

十分達成されている
達成されている
取り組まれているが、成果が十分でない
取り組みが不十分である

A
B
C
D

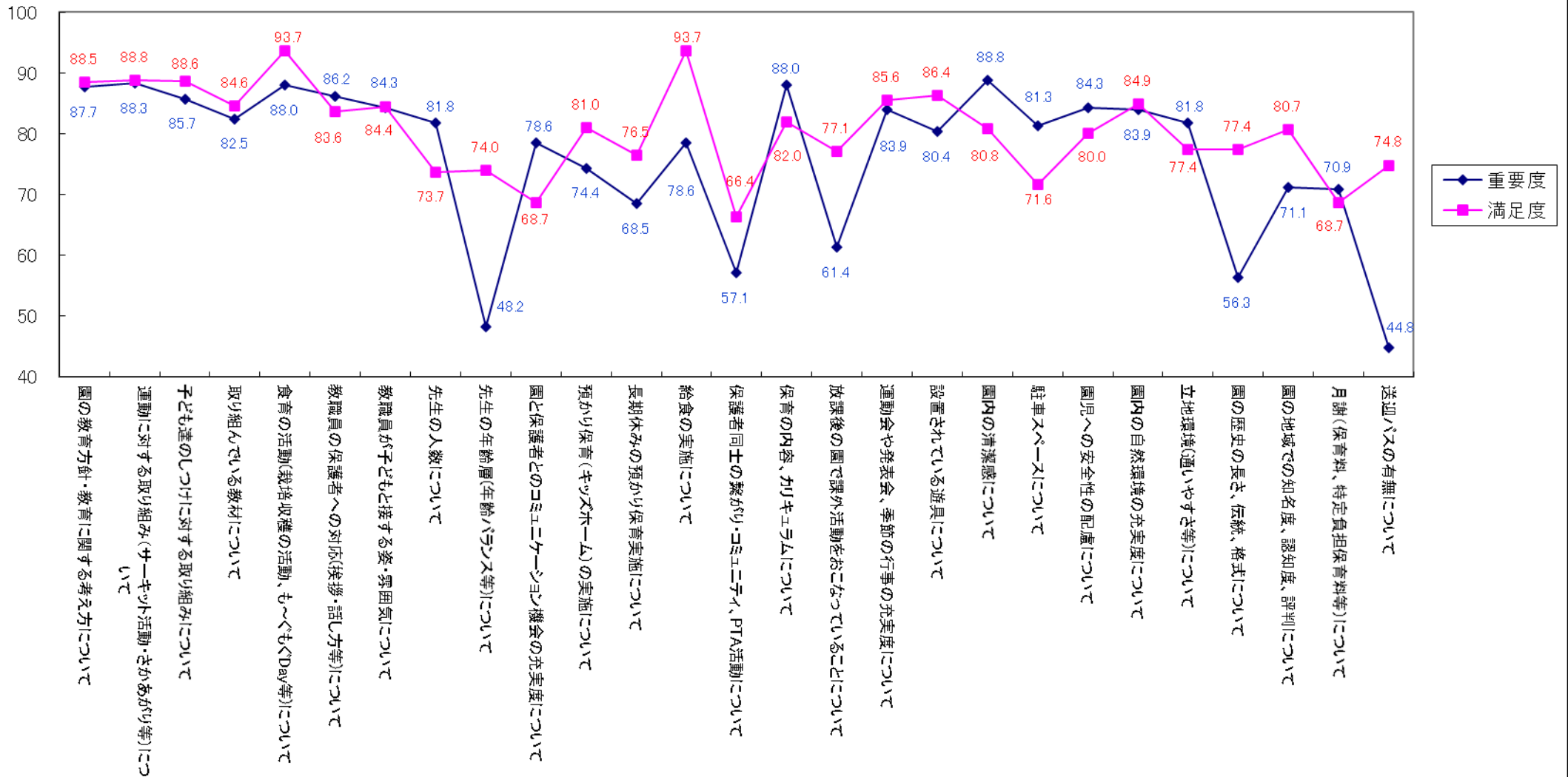
4. アンケートによる自己評価（教職員）および保護者による学校評価の結果

	項目	質問内容	自己評価		学校評価	
1	理念・教育方針	園の教育に関する考え方	76.4	76.4	88.5	88.8
		運動に対する取り組み	79.2		88.8	
		子ども達のしつけに対する取り組み	79.2		88.6	
		取り組んでいる教材について	66.7		84.6	
		食育の活動（栽培収穫の活動、も〜ぐもぐDay等）について	83.3		93.7	
2	教職員の取り組み	教職員の保護者への対応(挨拶・話し方等)について	77.8	68.9	83.6	76.9
		教職員が子どもと接する姿・雰囲気について	69.4		84.4	
		先生の人数について	68.1		73.7	
		教職員の年齢層(年齢のバランス等)について	66.7		74.0	
		園と保護者とのコミュニケーション機会の充実度について	62.5		68.7	
3	教育・保育に関するサービス	預かり保育の実施について	68.1	71.2	81.0	80.3
		長期休みの預かり保育実施について	66.7		76.5	
		給食の実施について	86.1		93.7	
		保護者同士の繋がり・コミュニティ・PTA活動について	70.8		66.4	
		保育の内容、カリキュラムについて	68.1		82.0	
		放課後の園で課外活動をおこなっていることについて	59.7		77.1	
		運動会や発表会、季節の行事の充実度について	79.2		85.6	
4	施設・設備・環境	設置されている遊具について	70.8	73.8	86.4	80.2
		園内の清潔感について	70.8		80.8	
		駐車スペースについて	77.8		71.6	
		園児への安全性の配慮について	72.2		80.0	
		園内の自然環境の充実について	77.8		84.9	
		立地環境(通いやすさ等)について	73.6		77.4	
5	その他	園の歴史の長さ、伝統、格式について	72.2	71.9	77.4	75.4
		地域での知名度、認知度、評判について	69.4		80.7	
		月謝(保育料、特定負担保育料等)について	68.1		68.7	
		送迎バスの有無について	77.8		74.8	

5. 保護者アンケートによる重要度と満足度の調査結果

※重要度とは幼稚園選びの際にどの項目を重視しているのかを示し、満足度とはリーチェル幼稚園の取り組みに対する各項目の印象(満足度)を示しています

保護者の満足度調査



6. 学校関係者評価委員会による総評

<p>コロナ禍において様々な制限がある中、感染症対策を施しながら教育保育をおこない、保護者より高い評価をいただけたことはとても良い。今後もコロナの状況は続くと思うが、引き続き、子供たちのためによりよい教育保育を提供していただきたいと思います。園の理念・教育方針に対する保護者の理解も高く、しつけやカリキュラム、運動・食育に関する園の取り組みに高い評価をいただいている。感染症対策に留意し、こども園としてより満足いただけるようさらに教育保育の内容を充実させ、子供たちがより主体性を持ち、また子供たちの可能性をもっと引き出す活動を増やしていくとよりよい乳幼児教育が実践されていくと思う。</p>	総評
<p>またコロナ禍ではあるが、園と保護者とのよりよい関係づくりへの工夫もが求められる。制限もありコミュニケーションの充実はなかなか難しい状況であるが、できることを少しずつ、そして積極的に挑戦していただきたいと思います。</p> <p>いかなる状況下でも、園が子育て支援のより良い拠点になるべく、工夫と実践を繰り返していただき、これからの期待も込めて学校関係者評価委員会としての評価は A とする。</p>	A

7. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
<p>教職員の資質向上、子供や保護者への対応の充実</p>	<p>園内研修や外部研修を活用し、教職員一人ひとりの資質向上をはかり、園全体の教育保育の資質向上により一層努めていく。また、近年多様化する子供たちのサポートについても、職員配置を増やすなどの対応を実現し、より手厚い保育にしていく。職員配置を増やすことでさらに子供や保護者への対応についてもきめこまやかな対応が実現できる。</p> <p>園と保護者との関わりについても、コロナ禍ではあるがより充実したものとなるよう工夫改善をしていく。</p>
<p>園児への安全性の強化</p>	<p>新型コロナウイルス感染症対策を引続きおこない、園児への衛生教育を続けていく。また園における危険個所の把握と危機対応による研修を重ね、教職員全員の意識を向上させる。</p> <p>事故防止委員会を中心に、事故防止や、不審者対応、自然災害、園内感染、アレルギー対応などのマニュアルを再確認し、非常事態に落ち着いて対応できるよう定期的に研修を重ねる。</p>
<p>駐車場、園への通園の問題</p>	<p>保護者への交通マナーの徹底をおこなう。</p> <p>近隣の方々に迷惑がかからないよう登園・降園時のルールを徹底する。</p>
<p>施設・園庭等園内環境の整備・美化</p>	<p>園内の整理・整頓・清潔を常に意識し行動する。感染症予防の観点からも園内を定期的に消毒し清潔に保つことが重要である。安全・衛生の両面から園内を清潔に保つよう努力していく。</p> <p>また事故防止委員会を活用し、安全対策への教職員の意識をさらに高め、園庭における職員配置の改善や園庭の環境整備を進める。</p>
<p>預かり保育の充実</p>	<p>年々共働き世帯が増えており、長期休みの預かり保育の需要が高まっている。職員確保等の問題はあるが、安心して預けられる環境整備や仕組みづくりが必要である。充実した預かり体制を整えるために努力していく。</p>